

Osaka Metro まちさんぽ

南森町駅

90分
コース

谷町線・堺筋線 南森町駅

天満東寺町から天満宮へ

先哲の眠る東寺町をめぐり、道真公の天満宮へ

天満^{てんま}一帯は菅原道真を祀る天満宮によって形成されたまちです。
大坂の陣のあと、徳川家康の特命を受けた松平忠明が、大坂復興事業のひとつとして、天満北縁に天満寺町を整備して北の防御線としました。
東側を天満東寺町と呼び、現在まで寺院が立ち並んでいる光景がみられます。
ここでは大坂の先哲たちの墓をめぐります。



- スタート駅 谷町線・堺筋線 南森町駅 ⑤号出口
- | | | | | | | | | | | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-------|------|-----|---------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 天神橋筋商店街 | 善導寺 | 天徳寺 | 寶珠院 | 九品寺 | 龍海寺 | 川端康成生誕の地 | 大阪天満宮 | 大將軍社 | 星合池 | 天満天神繁昌亭 |
- ゴール駅 谷町線・堺筋線 南森町駅

大坂のまちは、当初は北組、南組に分けられ、天満あたりは別のまちとみられていましたが、天満に民家が増えてくると天満組が成立して大坂三郷になりました。天満組には大坂町奉行所の与力、同心の屋敷も集められました。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために
 ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

南森町駅
90分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線・堺筋線 南森町駅

天満東寺町から天満宮へ

先哲の眠る東寺町をめぐり、道真公の天満宮へ

天満宮は菅原道真を祀る天満宮によって形成されたまちです。大坂の陣のあと、徳川家康の特命を受けた松平忠明が、大坂復興事業のひとつとして、天満北縁に天満寺町を整備して北の防御線としました。東側を天満東寺町と呼び、現在まで寺院が立ち並んでいる光景がみられます。ここでは大坂の先哲たちの墓をめぐります。

スタート駅

約 90 分

ゴール駅

谷町線・堺筋線南森町駅⑤号出口

谷町線・堺筋線南森町駅

1 天神橋筋商店街

江戸時代初期に青物市が立ったことが、はじまりとされています。天満宮の表参道として、また寺町の寺院への参拝道として賑わってきました。現在、南北2.6km、約600店舗の日本一長いアーケード商店街です。

2 善導寺

町人学者・山片蟠桃の墓があります。両替商・升屋の番頭として辣腕を振った山片は、大著『夢の代』を著し、歴史、自然、経済、医学に科学的、合理的な考察を展開しました。地動説や無神論にも言及しています。大阪の合理精神の支柱になったとされています。



3 4 天徳寺 寶珠院

天徳寺には、儒者・書家の篠崎小竹の墓があります。小竹は私塾・梅花社を發展させ、門下生は1500名に及んだといわれています。寶珠院は、道真が左遷の際に立ち寄り、十一面観世音菩薩や写経を収めました。菅原山と称します。



5 九品寺

大坂の町人学問の開拓者・五井持軒の墓があります。五井は、のちに町人私塾の拠点となる儀徳堂へつながる、大坂の知の系譜の先駆けとなる人です。



6 龍海寺

幕末に多くの開明的な門下生を輩出した私塾・適塾の緒方洪庵・八重夫妻の墓があります。緒方洪庵が師とした医学者・蘭学者の中天游の墓もあります。さらに、適塾の塾頭を務め、戊辰戦争で軍略家として官軍を勝利させた、日本陸軍の創始者・大村益次郎の足塚があります。大村は刺客に襲われて足の傷が原因で死亡しました。足塚は「切断した足を洪庵先生の墓傍に埋めてほしい」という遺言によります。



7 川端康成生誕の地

『伊豆の踊子』『抒情歌』『禽獣』『雪国』など新感覚派として日本美を追求したノーベル文学賞受賞作家・川端康成は、明治32年(1899)、かつての料亭「相生楼」の南側で生まれました。両親の死後、茨木市の祖父母の下に移り、茨木中学から第一高等学校、東京帝国大学へ進学しました。

8 9 大阪天満宮 大將軍社

平安時代の右大臣・歌人・学者の菅原道真は、延喜元年(901)に左大臣・藤原時平の讒言で失脚し、左遷されて太宰府に向かう途上、摂津の大將軍社に参詣しました。2年後に59歳で没。その後、大將軍社の前に突如、7本の松が生えて、夜ごとに金色の霊光を放ちました。村上天皇は勅命でこの地に天満宮を鎮座させました。大將軍社は、古代難波宮の鬼門守護で置かれたとされ、現在も天満宮境内に祀られています。



10 星谷池

天満宮の境界は、昔より、北極星を崇める星辰信仰の盛んなところでした。星谷池もその名残だと思われれます。江戸時代には七夕伝説とも結びつきました。星合橋のもとにある石鳥居は天満宮最古の鳥居とされています。

11 天満天神繁昌亭

平成18年(2006)に開場した上方落語の定席で、落語を中心に漫才、俗曲などの演芸が連日上演されています。初代桂春団治の象徴でもあった「赤い人力車」や春団治の時代の郵便ポストが飾られています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2020年6月時点のものです。内容は変更されている場合がありますのでご了承ください。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.info

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

